

アランフェスの麗しき日々 (2016)

LES BEAUX JOURS D'ARANJUEZ

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス／ドイツ／ポルトガル
色彩 Color
時間 97分
初公開日 2017/12/16
公開情報 オンリー・ハーツ
映倫 G

【キャッチコピー】
そしてふたたびの夏
もしかしたら最後の夏かもしれない

【解説】
名匠ヴィム・ヴェンダース監督が5度目のコラボレーションとなる「ベルリン・天使の詩」の盟友ペーター・ハントケの戯曲を映画化。小高い丘の上の美しい庭のテラスで、テーブルをはさんで座る一組の男女が、お互いの性体験や子ども時代の思い出、あるいは男と女の違いについてといった、とりとめのない会話を繰り広げていく穏やかな夏の日のひとときを綴る。主演は「ヒポクラテス」のレダ・カテブとペーター・ハントケ夫人でもあるソフィー・セマン。また、人気ミュージシャンのニック・ケイヴがゲスト出演で弾き語りを披露する。

【クレジット】			
監督	ヴィム・ヴェンダース	Wim Wenders	
製作	パウロ・ブランコ	Paulo Branco	
	ジャン＝ピエロ・リングエル	Gian-Piero Ringel	
原作	ペーター・ハントケ	Peter Handke	『アランフェスの麗しき日々 夏のダイアローグ』（論創社刊）
脚本	ヴィム・ヴェンダース	Wim Wenders	
撮影	ブノワ・デビエ	Benoît Debie	
プロダクションデザイン	ヴィルジニー・エルンヴァン	Virginie Hervann	
衣装デザイン	ジュディ・シュルーズバリー	Judy Shrewsbury	
編集	ベアトリス・ババン	Beatrice Babin	
出演	レダ・カテブ	Reda Kateb	
	ソフィー・セマン	Sophie Semin	
	イエンス・ハルツァー	Jens Harzer	
	ニック・ケイヴ	Nick Cave	
	ペーター・ハントケ	Peter Handke	